

# ひょうご脱炭素経営スクール実施委託業務 に係る公募型プロポーザル審査方針

## 1 目的

「ひょうご脱炭素経営スクール実施委託業務に係る公募型プロポーザル実施要領」第9条に基づく提案書の審査にあたり、公平性と合理性を確保するために審査基準を定める。

## 2 審査方法

- (1) ひょうご脱炭素経営スクール実施委託業務に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）が、参加者から提出された提案書と必要に応じて実施する応募者へのヒアリング等に基づき審査を実施する。
- (2) ヒアリングを実施する場合は、応募者からの提案書の説明及び質疑応答により実施する。
- (3) 審査委員会において、審査基準に基づき提案書の審査を行い、最も優れた提案をした者を第1順位とする。
- (4) 審査委員会の委員は、提案書の内容等により、別表に示す審査項目と審査基準に従い、審査項目ごとに以下の6段階評価を行う。

優れている	5点
やや優れている	4点
普通	3点
やや劣る	2点
劣る	1点
非常に劣る	0点

- (5) 評価点は、各審査項目の審査結果に対し、指定された加重倍率を乗じて得られた点数とする。

## 3 第1順位者の決定方法

- (1) 委員の評価点の合計が最も高い提案者を第1順位者とする。
- (2) 合計点が同点の第1順位者が複数存在する場合は、出席委員の多数決により第1順位者を決定する。それでも決しない場合は、委員長が第1順位者を決定する。

## 審査基準

審査項目		審査基準	加重倍率	配点 (合計 100)
取組の実現性	経営状況 事業実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社規模、財務状況、事業実績、想定スケジュールなどから事業の執行に支障はないか。</li> <li>本業務に関して類似の実績を有し、本業務へのノウハウの活用が期待できるか。</li> </ul>	3	15
業務推進体制	本業務遂行のための体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務の受託者として十分な専門知識やノウハウ、企画力等を有し、業務を効果的・効率的に行うことができる能力を有しているか。</li> <li>本業務の実施にあたり、必要なノウハウやスキル等を有する担当者が適切に配置され、確実な業務遂行が可能な体制となっているか。</li> </ul>	3	15
企画提案内容	企画全体設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務の目的や趣旨を踏まえた全体像やコンセプトが提案されているか。</li> <li>仕様書に沿った内容となっているか。</li> </ul>	5	25
	事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>総事業費は予算規模及び提案内容に合った額であるか。</li> </ul>	2	10
	講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書で定めた内容が適切に伝わるような内容が想定されているか。</li> <li>講義回数、開催方法、対象事業者数は仕様書で定めた内容となっているか。</li> <li>参加した事業者の理解が深まるような工夫がなされているか。</li> </ul>	7	35
合計				100